

伊賀市上野西部 公民館だより



第116号

平成24年12月14日

編集発行:上野西部公民館

所在地:伊賀市上野福居町

TEL・fax 0595-23-9779

上野西部地区の人口 世帯数 1,497 人口 3,454 人(内男 1,640・女 1,814) 24.11.30 現在

先進地視察団 来訪

厚生まちづくりの会(厚生まちづくり協議会)の皆さん27名が 12月3日 伊勢市一之木から来館されました。上野西部地区住民自治協議会の組織・経緯・活動状況等の質問に答えました。又社会福祉関連で「地域ケアネットワーク」などへの質問がありました。これまで 3団体の視察を受けましたが 皆さん共に 会員の参加協力に問題をお持ちでした。



上野西部地区住民自治協議会 防災訓練 防災防犯交通安全部会



12月9日 9時 西部市民センターからの防災放送で訓練開始 各町の一時立寄り所より避難所安立寺(仮定)へ集合、○防災啓発車による地震体験○応急担架の作り方・搬送する方法等○消火器の使用訓練○炊き出し 等を体験訓練した。

訓練には自治会・消防署・消防団(北2)・西部にんじん民生委員等の協力を得て 150余名の参加がありました。

年末年始 火災予防や安全管理を

11月23日12時50分頃 東丸之内地区で火災が発生し大勢の方々が罹災されました。又消防団の団員が出動、徹夜で警戒にあたってくださいました。この火災では 東丸之内自治会が中心になり 炊き出しや一時退避所の設置などを行い、上野西部地区住民自治協議会事務局や防災防犯交通安全部会長が支援活動を行いました。 ご苦労様でした。12月9日には上記の通り 第2回の防災訓練を行いました。住民一人一人が防災に心掛けてください。



上野西部地区住民自治協議会 会長

12月28・29・30日 消防団が夜警巡回を行います

伊賀上野の方言番付を作っています

3年前から 上野西部公民館を拠点に、富山大学人文学部中井准教授指導の元 富山大学生たちが 伊賀独特のことばを調査しています、住民の皆様の協力で <伊賀方言番付>が完成間近かです。

富山大学の「ニューズレター」に掲載された記事を紹介します。



伊賀上野の方言番付を作っています (3年 中橋ゆきえ)

方言番付というものをご存知ですか？地域の方言とその意味を、相撲の番付表に見立てて作ったものです。

富山県では、方言研究家の蓑島良二さんが編集、富山大学人文学部の中井精一准教授が監修し、富山商工会議所が富山県方言番付を発行しました。富山県民や富山大学の県外出身の学生らにも富山弁についてアンケートをとり、その結果を番付に反映させていて、約 400 語の富山弁が紹介されています。富山弁で、魚などが生き生きしていることを「きときと」と言います。鰯や白エビ、ホタルイカなど、海産物が美味しい富山県ならではのことばです。このように富山弁ならではの特徴や面白さが、方言番付には凝縮されています。富山県方言番付は、県内外の駅や居酒屋などに貼られていて、富山県の方言を全国に知ってもらいたい材料となっています。



方言番付調査風景

その方言番付を三重県伊賀上野の方言でも作ろうと、伊賀市在住の方々に調査を行い、普段からよく使う方言や、伊賀独特のことばを教えてくださいました。これまでに何度も方言調査に協力していただいている伊賀上野の方々に、方言番付という形で恩返しをしたいという思いで、試行錯誤しながら制作しています。まだまだ制作の途中ですが、伊賀弁の魅力が詰まった方言番付を作りたいと思います。

人権講演会

12月19日午後7時

講師 四日市大学 松井真理子教授

於 上野西部公民館

おもちつき大会



12月2日(日) 恒例の、おもちつき大会を開催しました。冷え込みが厳しい日でしたが 元気な子ども達が集合しました。世代間交流事業として お年寄りをお招きし、保護者・子ども達で 120名余りが参加しました。

2回杵でもちつきを行い、きなこもち・おろしもち・のりまきをお腹いっぱい食べ 最後に 餡を包んで大福

もちをつくりお土産としました。



お母さんの手を借り私もつきました



高学年は大きな杵で



きなこもち食べてます

にんじん西部ヘルスメイト

12月4日 料理教室の作品です。



- ① 有頭えびのうに焼き
- ② サーモンの花びらき巻き
- ③ 海の幸かまぼこイクラ盛
- ④ 筑前煮
- ⑤ 吹き寄せ卵
- ⑥ ゆず釜
- ⑦ 黒豆松葉
- ⑧ しめじの吸い物
- ⑨ 香の物
- ⑩ ご飯

レシピは 上野西部公民館にあります。

サークル紹介

上野西部公民館

年輪

十一月 伊賀年輪会句会

陶破片敷く窯場径紅葉散る
かたはらに芭蕉座像冴え轆轤挽く
地に地鶏枝に冬すずめ陶師留守
膝ふれて親し車座十夜粥
陶窯へ女竹添ふ坂笹子鳴く
寒鴉頭上に一声残し飛べり
篋づかひ繊細陶師ジャケツ脱ぐ
冬めきぬ陶師の土間の亜炭の香
来る年の干支の陶板冬工房
暖炉燃ゆ轆轤の手水窓濡らし
手指冷ゆ手桶に湯入れ老陶師
烏骨鶏飼ふ窯元や散紅葉
轆轤引く達磨ストーブ火を継ぎて
冬鴟や泡瓶という醤油差し
窯裏の野猪の狼藉冬ぬくし
陶房に巣箱が二つ笹子鳴く
いずれ美し攻窯の火と冬紅葉

西田 誠	川口 幸子	橋本 良	永井 みよ	谷本 まさ子	中森 文子	土井 陽代	高橋 久美	山下 隆展	西口 智寿	和田 美代子	古賀 町子	松本 ちい	川口 登子	原 禮子	坂口 緑志	海保 りつ子
------	-------	------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	------	-------	--------

伊賀地区こどもわかもの 育成支援のための研修会

於 名張市防災センター

『次世代の担い手育成』と題して、
11月17日 上野西部地区児童福祉
会連絡会会長杉森弘典さんが上野西
部地区の活動状況を発表しました。



上野西部公民館ロビーで

人権パネル展開催中

11月27日～12月20日

子どもの人権 高齢者の人権

インターネットにおける人権

人権問題を考えて頂く為に展示しています。

